病理診断科

1．スタッフ（2021年４月１日現在）

科　　長（教　　授）福嶋　敬宜（兼務）
副 科 長（准 教 授）河田　浩敏（兼務）
医　　員（病院助教）丹波　美織（兼務）
シニアレジデント　　２名

2．病理診断科の特徴

病理診断部は、自治医科大学附属病院および関連病院に来院された方々が、適切でレベルの高い医療を受けられるよう、組織診、細胞診、剖検を含めた病理学的な検討を行って、その診断情報を臨床担当科にお伝えすることを主な業務としている。

2014年４月から、「病理診断科」の標榜に伴い、自治医科大学病院に入院中の患者からの要望に応じて、病理専門医が、病変の組織像を説明し、病理診断の疑問に答える「病理診断説明外来」を開設している。

病理診断科の説明外来は病理診断部との密接な情報共有により行うものである。

新館南棟１階の病理診断部内にカンファレンスルームとの兼用で病理診断説明外来を行えるスペースが確保されたが、診療報酬がつかないという問題もあり、未だ積極的な病理説明外来の実施に至っていない。

3．実績・クリニカルインディケーター

1）病理診断外来件数の動向：

「病理診断説明外来」は、人員、場所の都合なども有り、2020年度も引き続き最小限の対応とした。

2）部門統計（2020年）

■病理診断説明外来　　０件
（１例、癌手術前の患者からの依頼が入ったが、その病理診断内容により中止となった）

本事業は保険診療の枠外であり、収益が見込める事業ではなく、新型コロナ感染拡大の本年に、あえて進める事業ではないと判断し結果として０件となったが、今後、診療各科からの要望なども聞きながら、どの程度の体制を取っていくかは、引き続き課題である。

※以下、病理診断部実績（参考）（2020年）

■病理組織診断件数：	15,206件
生　検	10,806件
内視鏡	4,186件
手　術	3,965件
借　用	435件
標本ブロック数	66,105個
■迅速診断：	952件
ブロック（検体）数	1,846個
■細胞診件数：	14,468件、35,029枚
パパニコロー染色	29,093枚
特殊染色	6,089枚
＜検体別の件数＞	
婦人科関連	7,456件
呼吸器	1,309件
泌尿器	1,312件
甲状腺	262件
乳腺	161件
消化器	884件
（EUS-FNA	131件）
リンパ節	249件
体腔液	2,460件
他	375件
セルブロック	174件
■電子顕微鏡検索：	323件
腎臓	294件
その他	29件
■免疫組織化学染色：	3,885件
	19,878枚
Her2蛋白検査件数	535件
ER&PR	507件
ALK	133件
PD-L1	11件
■蛍光抗体法検索：	288件
■EBER1検索：	151件
■FISH法検索：	126件
■病理解剖診断：	26件

3）病理診断精度管理について：

（参照：病理診断部実績）

4）臨床病理カンファレンス

（参照：病理診断部実績）

5）キャンサーボード

臨床各科からの要望に応じて随時出席している。

4．2021年の目標・事業計画等

1）継続的業務への取り組み

病理診断説明外来事業は、保険診療の枠外であり、収益が見込める事業ではないが、人員配置や診療各科からの要望なども聞きながら、病理説明外来の実施に向けて引き続き検討していきたい。

※病理診断科の業務は病理診断部の業務に直結しており、その詳細は病理診断部の項を参照頂きたい。また、下記ウェブサイトでも多くの情報を公開している。

病理診断部／病理診断科　連絡先：
電話0285－58－7186、Fax 0285－44－8467
ウェブサイト：http://www.jichi.ac.jp/pathology/